

ビスタ噴射ポンプパッキン交換作業

1. 背景

盛岡市/杉生園（セベック製プラント EOSYS 50）で生成された BDF（バイオ・ディーゼル・ヒューイル）を使用するに当たり以前まで使用した BDF との関連をリセットする為、噴射ポンプの駆動シャフトのシールを交換しました。

2. 車履歴

車体 No.等；平成 7 年車

来歴；走行距離約 7 万 Km の中古で購入したが、トリップメータが故障していた為、中古のメータパネルと交換。

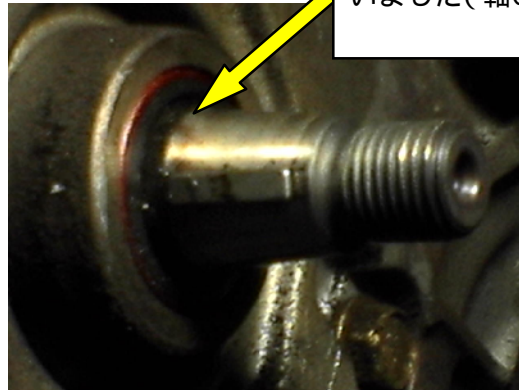
約 3 万 Km を指示していたので、約 4 万 Km 若く表示されることになりました。

2002 年 5 月に BDF を購入し始め、2004 年 7 月までに BDF 燃料で約 4 万 Km（強）を走行しました。2005 年 4 月に盛岡杉生園の BDF（100L～150L/月）を購入し始め、5 月連休明けにパッキンを交換し現在に至っています。

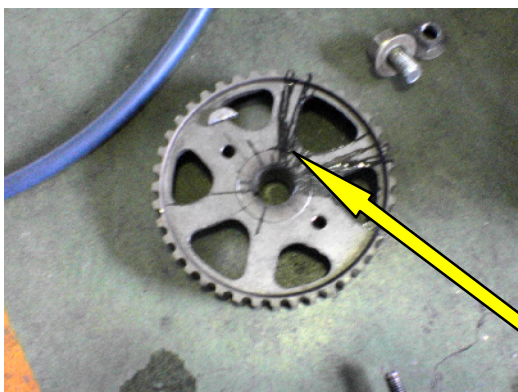
噴射ポンプ周りの解体風景



噴射ポンプ駆動軸



噴射ポンプ駆動軸アップ



噴射ポンプ駆動用プーリ

パッキンのゴムが変質し、

熱で溶融してプーリに滲んで広がった様子（冷えると硬い）

今回は当該パッキンのみを交換しました。

このパッキンのゴムはニトリルゴムであり、BDF に有効と言われているというフッ素ゴム系ではないので、9 年間というゴムの経時劣化と BDF の溶剤性で、使用限界に近くなっていたと思われます。